

- 問1 日本の産業構造の変化を整理した資料において、1980年代後半から第二次産業に従事する人の割合が減少に転じている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 原料を輸入して製品を輸出する加工貿易を、政府が全面的に禁止したため | 2. 安価な労働力や市場を求め、製造業者が生産拠点を海外へ移転させたため | 3. 重化学工業から軽工業へと産業の主軸が移り、必要な労働力が激減したため | 4. 国内の消費が低迷したため、すべての製造業者がサービス業に転換したため |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 21世紀以降の日本の農業に関する統計において、2005年から2015年の10年間で、農業就業人口は約330万人から約200万人へと大幅に減少し、経営耕地面積の合計も約470万ヘクタールから約440万ヘクタールへと減少しています。このような日本の農業の現状を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 農業就業人口は横ばいであるが、海外からの安価な農産物の輸入が増えた影響で、国内の経営耕地面積を意図的に減らしている。 | 2. 農業就業人口が減少する中で、特に65歳以上の割合が極めて高い高齢化が進行しており、それに伴って経営耕地面積も減少傾向にある。 | 3. 農業の機械化や大規模化が進んだ結果、農業就業人口は減少したが、一戸あたりの耕地が拡大したため経営耕地面積の合計は増加している。 | 4. 若者の新規就農者が急増したことで農業就業人口の若返りが進んでいるが、宅地開発の影響で経営耕地面積のみが減少している。 |
|---|---|--|---|
- 問3 太平洋ベルトに含まれる瀬戸内工業地域など、多くの工業地帯・地域が臨海部に形成された理由について、日本の貿易の特色をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| 1. 海外から原料や燃料を輸入し、製造した製品を輸出するのに便利な船舶輸送を利用するため | 2. 内陸部の急峻な地形を避け、広大な農地を工業用地に転用して食料自給率を高めるため | 3. 高速道路網が未整備だった時代に、都市間の労働力移動を円滑にするため | 4. 内陸部の豊富な地下資源を直接加工し、パイプラインを通じて都市部へ供給するため |
|--|--|--------------------------------------|---|
- 問4 高知県や宮崎県などの産地において、ビニールハウスなどの施設を利用し、本来の収穫時期よりも早い時期に野菜を出荷する「促成栽培」が行われる目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|---|
| 1. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売するため | 2. 大消費地である都市の近くで栽培し、輸送にかかる時間とコストを削減するため | 3. 冬の厳しい寒さを利用して、作物の糖度を高めブランド価値を上げるため | 4. 標高の高い地域の冷涼な気候を活用し、夏の暑い時期に不足する野菜を供給するため |
|--|---|--------------------------------------|---|
- 問5 2019年の日本の港湾別貿易統計において、輸出額が全国で第2位となっており、品目別の内訳では自動車が全体の約6割を占めている港の名前として正しいものを選びなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 横浜港 | 2. 苫小牧港 | 3. 名古屋港 | 4. 神戸港 |
|--------|---------|---------|--------|
- 問6 東北地方の農業生産額において、米の占める割合が他地方よりも極めて高くなっている状況について、その背景や課題を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 家畜の飼育頭数が日本で最も多いため、稲作よりも畜産業が生産額の大部分を占めている。 | 2. 米の生産を抑え、代わりに商品価値の高い熱帯果実への転換が急速に進んでいる。 | 3. 温暖な気候を活かした二毛作が普及しており、米と野菜をバランスよく生産している。 | 4. 米への依存度が高いため、冷害などの自然災害や米価の変動が地域の農業経営に与える影響が大きい。 |
|--|--|--|---|
- 問7 物流業界における「再配達削減」を目指すデジタル技術の活用について、その仕組みと目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 最新の通信技術を用いて、全国の配送拠点をすべて無人の自動倉庫に置き換えることで、人件費を削減する。 | 2. 配送車両の走行距離を制限するアプリを導入し、一定距離以上の配送を強制的に停止させる。 | 3. デジタル技術で受取人の在宅状況を把握し、事前に受け取り日時や場所を調整することで、物流の効率化を図る。 | 4. SNSを通じて近隣住民に荷物の配送を代行させるシステムを構築し、プロの運転手の負担をなくす。 |
|--|---|--|---|
- 問8 IC（集積回路）などの電子部品や貴金属などの輸送において、海上輸送ではなく航空輸送が利用される理由として最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 運賃が非常に安く、低価格な大量貨物を短時間で運べるから。 | 2. 単位重量あたりの価格が高く、軽量で高額なため高い運賃を負担できるから。 | 3. 海上輸送に比べて重量制限がなく、どのような貨物でも輸送可能だから。 | 4. 厚重巨大な貨物を一度に安く運ぶことができるから。 |
|---------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------|
- 問9 トウモロコシやサトウキビなどの植物資源を原料として製造される燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しても、もともと植物が成長過程で吸収したものであるため大気中の二酸化炭素を増やさないといなされます。このような地球温暖化対策の代替エネルギーとしても注目されている燃料を何と呼びますか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 原子力燃料 | 2. バイオ燃料 | 3. 化石燃料 | 4. 天然ガス |
|----------|----------|---------|---------|
- 問10 世界遺産に登録されたある村において、登録翌年の観光客数は101.9万人でしたが、周辺の道路整備を行った15年後には173.1万人にまで増加しました。このような道路整備などのインフラ整備が観光振興にもたらす利点として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 観光客の流入を制限し、歴史的な景観を維持することで、管理運営にかかる財政負担を軽減する。 | 2. 交通アクセスを向上させることで観光客数を増加させ、より多くの人に遺産の価値を伝えることが可能になる。 | 3. 道路の幅を狭めることで車両の通行を困難にし、徒歩による観光を促して滞在時間を延ばす。 | 4. 観光地の周辺に巨大な商業施設を建設することを優先し、伝統的な文化よりも経済効率を重視する。 |
|---|---|---|--|
- 問11 トウモロコシが人間の食料や家畜の飼料としてだけでなく、新しい燃料の原料としても広く利用されるようになったことで生じている、国際的な課題として最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 燃料としての需要が高まることで、食料や飼料としての供給が不足し、穀物価格が高騰する原因となっている。 | 2. 植物資源が無限に増殖するため、森林破壊が急激に止まり、野生動物の生息地が拡大しすぎている。 | 3. 天然ガスの代替として完全に普及したため、世界各地で火力発電所がすべて廃止される原因となっている。 | 4. 二酸化炭素を全く排出しないため、化石燃料の価格が暴落し、産油国の経済が破綻する原因となっている。 |
|---|--|---|---|
- 問12 ビニールハウスや温室などの施設を利用し、温度や湿度などの気候条件を人工的に制御することで、野菜や花などを栽培する農業形態を何というか、名称を答えなさい。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. 混合農業 | 2. 施設園芸農業 | 3. 地中海式農業 | 4. 焼畑農業 |
|---------|-----------|-----------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 安価な労働力や市場を求め、製造業者が生産拠点を海外へ移転させたため	企業の海外生産の拡大は、労働賃金の安い国で製品を作ることでコストを抑えることや、製品を販売する市場の近くで生産することを目的として行われました。これにより国内の製造現場が失われ、統計上も第二次産業の就業者割合が減少するなどの影響が現れました。これは「産業の空洞化」と呼ばれる現象の主要な原因です。
問2	答え 2 農業就業人口が減少する中で、特に65歳以上の割合が極めて高い高齢化が進行しており、それに伴って経営耕地面積も減少傾向にある。	日本の農業は、従事者の大幅な減少と高齢化という二つの大きな課題を抱えています。2005年から2015年の統計を見ると、農業を主な仕事とする人は100万人以上減少しており、その多くを65歳以上の高齢者が占めています。労働力の不足や後継者難により、適切に管理・経営される農地である経営耕地面積も、全国的に減少が続けています。
問3	答え 1 海外から原料や燃料を輸入し、製造した製品を輸出するのに便利な船舶輸送を利用するため	日本は資源の多くを海外に依存しており、輸入した原材料を加工して製品を輸出する「加工貿易」を中心に発展してきました。大型貨物船が直接接岸できる臨海部は、物流コストを抑える上で非常に有利な条件であったため、大規模な工場が沿岸部に集中しました。
問4	答え 1 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売するため	促成栽培は、温暖な気候という自然条件を活かして、他の産地との出荷時期をずらす戦略的な農業です。市場における供給が少ない時期に野菜を流通させることで、価格が高い状態で販売し、高い利益を得ることが主な目的です。大都市の近くで行われるのは「近郊農業」、涼しい気候を利用するのは「抑制栽培」や「高原野菜」の特徴です。
問5	答え 3 名古屋港	愛知県を中心とする中京工業地帯は自動車工業が非常に盛んであり、その拠点となる港では自動車の輸出が大きな割合を占めます。2019年の統計においても、輸出額全体の58.7パーセントを自動車占めており、工業地帯の特色が強く反映された貿易港となっています。
問6	答え 4 米への依存度が高いため、冷害などの自然災害や米価の変動が地域の農業経営に与える影響が大きい。	特定の農産物、特に米の生産額に占める割合が5割を超えるような状況は、稲作に適した土地利用がなされている証拠である一方、冷害による作況へのダメージや、近年の米の消費量減少に伴う価格変動の影響を強く受けやすいという側面があります。そのため、近年では野菜や果実への転換（転作）や、ブランド米の開発による高付加価値化が進められています。
問7	答え 3 デジタル技術で受取人の在宅状況を把握し、事前に受け取り日時や場所を調整することで、物流の効率化を図る。	再配達削減は、物流業界における人手不足（物流の2024年問題）や環境負荷の低減を解決するための重要な施策です。デジタル技術を活用して、荷物の受け取り側が自分のスケジュールに合わせて柔軟に日時や場所（宅配ボックスや提携店舗など）を指定できる仕組みを整えることで、配送の無駄を省き、持続可能な物流ネットワークの構築が進められています。
問8	答え 2 単位重量あたりの価格が高く、軽量で高額なため高い運賃を負担できるから。	航空輸送は海上輸送と比べてコストが高くなりますが、軽量で単位重量あたりの価格が高額な品物であれば、高い輸送費用を支払っても利益を確保しやすいため利用されます。
問9	答え 2 バイオ燃料	植物資源（バイオマス）を原料とするため、このように呼ばれます。二酸化炭素の排出と吸収が差し引きゼロになるという「カーボンニュートラル」の考え方にに基づき、地球温暖化対策として期待されています。
問10	答え 2 交通アクセスを向上させることで観光客数を増加させ、より多くの人に遺産の価値を伝えることが可能になる。	世界遺産登録後に道路などの基盤整備を行うことは、観光客の利便性を高め、訪問者数の増加に直結します。観光客が増えることは、地域経済の活性化だけでなく、人類共通の財産である遺産の価値をより広く普及させるという教育的・文化的な意義も持ちます。
問11	答え 1 燃料としての需要が高まることで、食料や飼料としての供給が不足し、穀物価格が高騰する原因となっている。	トウモロコシは重要な食料・飼料ですが、燃料用への転用が進むと市場に出回る食料用の量が減り、価格が上昇します。これにより、途上国などで食料不足に拍車をかけることが問題視されています。
問12	答え 2 施設園芸農業	施設園芸農業は、自然の気象条件に左右されず、ビニールハウス等を用いて作物の生育に適した環境を整える農業です。これにより、本来の旬とは異なる時期に収穫して出荷することが可能になります。宮崎県や高知県などの温暖な地域では、この手法を用いた「促成栽培」が特に盛んです。